

建築 社と会

ARCHITECTURE
AND SOCIETY

|No.1076| 2011 11
日本建築協会

■特集予告

12月号 / 構造教育と社会
1月号 / 災害のある国・ニッポンの再生に向けて
2月号 / 「和」(仮称)

編集委員会(平成23年度)

■副会長 橋本 宗明
本多 友常 松村 孝治
■編集担当理事 米井 寛
浅野真一朗 上原 正行 佐藤 栄一 設楽 貞樹 竹中 統一 立成 良三 三柴 利雄 吉村 英祐
■副委員長 勝山 太郎
■特集小委員会 計画分科会
★計画系
△守井 辰匡 飯田 克彦 鈴木 直人 高橋 和也 不動 剛志 紅谷 昇平 松田奈緒子 三宅 英祐 吉村 英祐
★建築計画系
△藤 茂夫 荒木 宏之 奥村 朋孝 菅野 忠司 木多 彩子 橋 敦士 下坂 浩和 所 千夏 野田 隆史 米山 剛史
★インテリア・住宅系
△間瀬 一博 海老原浩雄 小倉 一平 加藤 力 川合 隆之 黒柳 亮 戸井賢一郎 ベリー史子
■構造分科会
△志摩 好宣 秋田 智 石田 大三 岸本 光平 小芝 淳一 瀧野 敦夫 角田 耕一 難波 尚
■設備分科会
△赤澤 正治 梶井 宏修 北野 勝也 谷野 太志 夏井 重行 難波 利幸 野崎 立正 橋本 直樹 福谷 周 梶井 貴廣 宮崎ひろ志 村上幸三郎
■施工材料分科会
△中川 恒 桜井 和男 高橋 秀一 中野 敬史 藤丸 啓一 渡邊 聡
■法令分科会
△近都 学 河野 学 西林 浩一 濱崎 秀和 山上 佳之 吉川 玲子 吉田 純 鷲尾 真弓
■作品作製小委員会
○池上 明 居内 章夫 稲垣 和江 井上 雅祐 加嶋 章博 倉橋 尉仁 倉瀬奈千子 澤田 純一 戸川 勝之 鞆野 淳司 豊田 充広 鳥居 久人 西田 佳代 芳谷 晴彦 増田 敬彦
■広告企画小委員会
○前田 衛 上田 訓将 大波多俊介 小山 昭 権代 晃 永平 達也 森川 幸信 山辻 直樹

○委員長 ○副委員長 △幹事

印刷 2011年10月25日
発行 2011年11月1日
発行人 社団法人日本建築協会
発行所 社団法人日本建築協会
大阪市中央区大手前1-7-31
電話 06-6946-6981
印刷所 ㈱NPCコーポレーション
定価 1200円(税込)

©「建築と社会」誌の記事の無断転載を禁じます。

J o u r n a l o f t h e A r c h i t e c t u r a l A s s o c i a t i o n o f J a p a n

特集●コンクリートという素材

【総論】

コンクリートという素材～建築物の骨組となるコンクリート～●榎田佳寛 10

【各論】

コンクリートの品質管理●今本啓一 14
超高強度高性能コンクリートの技術開発●三井健郎 16
エココンクリート●大滝朋宏 18
杉板転写 化粧打ち放しコンクリート●多喜 茂 20
海水練り・海砂コンクリート—人工岩塩層—
●石関嘉一・青木 茂・竹田宜典・一瀬賢一 22
コンクリート施工技術●庄野和隆 24
編集後記 26

会告	第57回工高生デザインコンクール入選者発表—設計課題：バックパッカーのための施設—。2011年建築関係団体合同忘年親睦会。2012年建築関係14団体合同新年交礼会	1
作品作風	京つけもの もり 本社	4
3.11 関西からのメッセージ	地震被害低減に向けて●太田 寛	6
gallery	その街にある教会●田所克庸・上田 篤・川勝真一	8
法令コーナー	堺市景観計画の策定と堺市景観条例の改正～建築物・工作物・屋外広告物の届出制度～●垣内 明	27
構造の頁	世界初の3次元免震建物「知粋館」●富澤徹弥	28
再読 関西近代建築	琵琶湖ホテル●植松清志	29
関西の建築界群像	花田佳明●古谷隆祥	33
素材最前線	アーキテクチュラルコンクリートの特徴～意匠性を有するコンクリート素材～●高橋カーテンウォール工業㈱(株)パーフェクト・ウォッシュ	34
Member's Forum	西山卯三先生と日本建築協会～西山卯三生誕100周年に当たり～●松井昭光	36
information	平成23年度大阪府被災宅地危険度判定士講習会。なにわ建築フェスタ 2011。震災に備えるアイデア募集 記憶の継承～大切な人を守るために～。「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール。「2011年度かんでん住まいの設計コンテスト」。世界遺産ヴェネツィア展 魅惑の芸術—千年の都。榎忠 展 美術館を野生化する。特別展覧会 細川家の至宝 珠玉の永青文庫コレクション。特別展「上村松篁」～鶴に挑む～。川西英コレクション収蔵記念展 夢とともに。大阪市立科学館 プラネタリウム/全天周映像。	38
月間の動き	平成23年9月	40

本文デザイン 高橋善丸

今月の表紙

作品:柳澤頤 表紙デザイン:灰田瑞穂 撮影:Tomas Svab 協力:アートコートギャラリー

autonomous system B01

2010年/壁にカラーシート、レーザーカットしたアクリル板/140×93cm

壁面にカッティングシートを貼り、その壁面から3センチの間隔をあげ、レーザーカットしたアクリル板を取り付けた。アクリル板のイメージは、下にある風景を思わせるイメージを変形させたり、配置を多方向にずらしたりしたもの。二重化されたイメージは、見る位置によって変化し視覚を攪乱させる。壁画でも立体でもない非形式的な作品になることを意図した。(柳澤頤)